

南葛写真部 第48回全国高等学校総合文化祭[ぎふ総文]写真部門大会 参加報告

写真部顧問:金澤理奈

8月1日(木)~3日(土)の3日間、岐阜県関市で開催された「第48回全国高等学校総合文化祭 写真部門大会」に参加してきました。写真部として関東大会には何度か出場していますが、全国大会出場は南葛初となります。待ちに待った全国大会への参加です。生徒本人より顧問の方がテンション高めでした。

全国高等学校総合文化祭は文化部の全国大会のことで、文化部である多くの部活動において、都道府県代表の生徒たちと競い合ったり交流を深めたりする場です。今年度は7月31日~8月4日の5日間で、各部門が期間内のいずれかの日時に大会実施期間を設け、それぞれの定められた場所で開催します。写真部門は、例年、5日間の作品展示と3日間の行事を実施します。

3日間の記録を参加報告として記述します。雰囲気を感じ取っていただけたら幸いです。

【8月1日 写真部門1日目】

		<p>写真部門の東京都代表は全部で10作品(10名)です。 大会当日は、朝の6時45分に東京駅で集合し、「チーム東京」として全員で一緒に会場へ向かいました。さあ、ここから岐阜県関市までの旅です。</p>
	<p>新幹線で名古屋まで行き、JR 特別快速に乗り換えて岐阜駅を目指しました。 岐阜駅からは関市までバスです。シャトルバスに間に合わなかったため、岐阜バスで1時間かけて会場に向かいました。会場までの移動が大変でした。とにかく暑いし遠い!</p>	
		<p>開会式等が行われる関市文化会館に到着した後、開会式開始時刻まで1時間半程度あるので、先に展示作品を見ました。昼食をとる時間も必要…。とにかく時間がタイト!! まず、文化会館からシャトルバスで15分程度の場所にあるアテナ工業アリーナに向かい、チーム東京の作品展示から見ました。今回は残念ながら東京都で賞をゲットすることは叶いませんでしたが、全国大会で作品が展示され、多くの人に見てもらえたことは大きな経験になりました。</p>
		<p>13時から開会式、写真家による講演会、生徒交流会、顧問会議(写真家の講演)と行事が次々に行われました。 生徒交流会では、教員は最初の数分だけ入場できましたが、その後は覗けず……。10名程度のグループに分かれて交流が行われていました。</p>
<p>[開会式]</p>	<p>[生徒交流会]</p>	

【8月2日 写真部門2日目】



写真部門の2日目は撮影会です。
 チーム東京は全ての学校が「飛騨・高山コース」だったので、宿泊先から皆で一緒に岐阜駅から出発するバス乗り場まで向かいました。
 岐阜駅には全総文祭の「のぼり」が上から垂れていましたよ。
 バスロータリーがあるところに、「金の信長像」がありました。なぜ「金色」なんだろう…。



岐阜駅からバスで「高山別院」まで向かいました。
 高速道路を利用しても片道2時間30分の道のりです…遠い!! 我々は3号車に乗り込みました。
 前日(1日目)の最後に撮影会各コースの紹介がありましたが、飛騨・高山コースを紹介してくれた岐阜高校の生徒たちが3号車に乗車! 生徒の一人が「3号車には私がつきますので移動中はずっとしゃべり倒します」と言っていました。
 当日は行きも帰りも、その生徒の宣言通り、バスの中で楽しい案内&話を聞くことができました。本当にずっと話していましたね。



ちょうど一番暑い時間帯での撮影で、とにかく暑かったので、できるだけ日陰を選びながら移動し、高山の古い町並みを見学しながら撮影していました。
 撮影時間は、昼休憩を含めて2時間30分程度しかなかったため、ガシガシ撮影というよりも軽く観光しながら写真を撮り、昼休憩と一緒に土産を買うという感じでした。
 それでも初めての全国大会での撮影会、矢島さん本人は他校の生徒と一緒に仲良く回れたようで、顧問としても嬉しい限りです。

【8月3日 写真部門3日目】



〔表彰式〕



〔引継ぎ式〕

最終日は関市文化会館において、表彰式、2人の写真家による作品の講評会、閉会式、次年度開催県である香川県への引継ぎ式が行われました。
 今年度、チーム東京は入賞できませんでしたが、来年度に向けて、1・2年生には今まで以上に頑張っ
 て欲しいと思います。
 来年度は香川県だ!! 誰か私を連れてって♪



とにかく時間的に余裕のない3日間でしたが、いつも問題になるようなことはなく、無事に東京へ帰ってくることができました。
今回の経験をこれからの人生の中で活かしてほしいと思います。

【全国大会に参加して】

ぎふ総文2024写真部門大会は、私に更なる成長と新たな発見をくれました。特に生徒交流会で他県の生徒と接することで多くの発見がありました。交流会で作品作りの話をする中で、光や影の入れ方、編集の仕方、組写真の仕上げ方など多くのことを学びました。

日常的な写真もあれば日常を非日常に変える写真、別世界のように見せる写真等、様々なコンセプトを持って撮影に取り組んでいるという話を聞くことで、自分の中の視野が広がりました。

今大会で学んだことを今後の作品作りに活かし、自分らしさを大切に作品を作っていきたいと思います。

3年 矢島菜月